

競 技 上 の 注 意

1. 適用する競技規則・・・2022年度日本陸上競技連盟競技規則による。ただし、フィールド種目においてTR5.5は適用しない。
2. 招集場所、時刻は次の通りとする。
 - ・競技者係は100mスタートゲート付近に設け、招集時刻を次の通りとする。
 - ・トラック競技・・・第1次招集完了時刻は競技開始30分前、第2次招集完了時刻は15分前に完了とする。
 - ・フィールド競技・・・第1次招集完了時刻は競技開始50分前、第2次招集完了時刻は30分前に完了とする。

※すべての選手は棄権する場合、必ず第1次招集完了時刻までに競技者係に棄権届を提出すること。当日出場できなくなった場合も棄権届けを提出する。

 - ・第2次招集は、すべての選手が各競技の競技場所で行い、第2次招集を完了時刻までに受けていない選手は、出場を認めない。
 - ・リレーのオーダー用紙は、競技開始時刻の1時間前までに時間厳守で競技者係に提出すること。
3. シューズの靴底（ソール）の厚さ（WA規則TR5に準ずる）については、800m以上の長距離種目は25mm以下とし、規則にあったシューズ及びランニングシューズで競技に参加すること。
4. 競技場は全天候型につき、9mm以下のスパイクピンを使用すること。ただし、走高跳においては、12mm以下とする。ピンの数は11本以内とする。
5. アスリートビブスのない者の出場を認めない。（跳躍種目は片面でも可）
6. サブグラウンドの使用方法は、「大会参加上の心得」に従い、練習種目の範囲などを守って使用すること。芝生等には各学校の用具を持ち込んでもよいが、使用後は片付けること。
7. 表彰は各種目1～3位まで行う。表彰式は行わず、成績発表後にロビーより各自持ち帰ること。

<トラック競技>

1. すべてタイムレース決勝とする。
2. リレーで使用したテープは、競技後すぐに各自必ず取り除くこと。
3. 腰ナンバーは必要ない。ただし、長距離種目(800m以上)は、着順判定のため、出走前に審判員から配布された腰ナンバーを受け取り右腰（やや後方）に結着すること。レース後は、フィニッシュライン前方の所定の場所にすぐ返却すること。

<フィールド競技>

1. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、次のとおりとする。

走高跳	男子	1 m 4 0 (練習)	1 m 4 5 - (5 c m 刻み)	- 1 m 7 0	以後 3 c m
	女子	1 m 2 0 (練習)	1 m 2 5 - (5 c m 刻み)	- 1 m 4 5,	以後 3 c m
棒高跳	男子	1 m 8 0 (練習)	2 m 0 0 - (2 0 c m 刻み)	- 2 m 6 0,	以後 1 0 c m
	女子	1 m 5 0 (練習)	1 m 6 0 - (2 0 c m 刻み)	- 2 m 0 0,	以後 1 0 c m

※状況により、審判長の指示により試技開始の高さや上げ方を変更する場合がある。

2. 走幅跳・砲丸投・円盤投は、必要に応じてパスラインを設けることがある。
3. 走高跳は、100mスタート側ピットで行う。砲丸投は100mゴール側ピットで行う。
4. サブグラウンドでの砲丸・円盤の使用を禁止する。なお、競技開始30分前より、競技場内において練習を行うことができる。